

最上小国川清流未来ニュース

令和6年10月15日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第33号



～未来へつなぐ！清流文化～

小学生が最上小国川と鮎について学習

舟形町立舟形小学校の3年生と4年生が、総合学習の時間に最上小国川と鮎について勉強しました。

6月17日（月）には、3年生30人が、小国川漁業協同組合の中間育成施設（稚鮎センター）を訪れ、体長が15cmほどに育ち元気に泳いでいる鮎を見学しながら、加藤センター長から鮎の生態などについて説明を受けました。また、伊藤組合長からは「アユの一生」という紙芝居により、鮎の特徴や釣り方、鮎の遡上などに関することや、明治天皇巡行の折に「松原鮎」が献上されたことを教わりました。

児童たちは、鮎は一年しか生きられないことや、1万5千～2万個も産卵することなどを聞き、とても驚いていました。



紙芝居「アユの一生」の一部を紹介します。



6月24日(月)には、山形県内水面水産研究所の荒木副所長が、4年生31人に出前授業を行いました。児童たちは、最上小国川の様子や魚の種類、生息する生物などについて学習しました。



また、6月27日(木)には、小国川漁業協同組合の加藤センター長が小学校に出向き、最上小国川の名前の由来、鮎釣りに来る人数など、児童の質問に答える授業を行いました。

最上小国川清流未来振興機構では「先人から引き継ぎ、未来に伝える 清流文化 最上小国川」のキャッチフレーズのもと、子どもたちや若者世代に最上小国川の自然や伝統文化を知ってもらい、美しい川を将来に伝える取組みを行ってまいります。

第9回最上小国川写真コンテスト 引き続き作品募集中!

最上小国川の魅力(最上小国川の流域文化、風景、体験や思い出など)を撮影した写真を募集しています。

- テーマ: 「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」
- 募集期間: 11月30日(土)まで(当日消印有効)
- ★ 入賞者には賞金の贈呈のほか、「最上小国川流域の特産品」のプレゼントもあります!

スマホで撮影→ホームページから応募もOK!!
お気軽にご応募ください!!

詳しくは、最上小国川清流未来振興機構HP(<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>)をご覧ください!



▼第8回最優秀賞
「幻想の光跡」



▼第8回優秀賞
「静と動」

【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構(山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内): 0233-29-1239

※ 最上小国川清流未来振興機構のHPでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。(http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/)